

卒業研究 I のルーブリック表

		水準と評価点				
		D:60点未満	C:60点以上70点未満	B:70点以上80点未満	A:80点以上90点未満	S:90点以上100点以下
評価項目	(1) 諸規則を遵守し、卒業研究に必要な技能を習得し準備としての活動ができる	研究活動に関する諸規則を全く理解せず、それらに従うことができない。研究の記録もずさんで、記載してあっても判読不可能である。また、研究に用いる機器などの使用方法といった必要な技能を習得せず、正しく取り扱うことができない。	研究活動に関する諸規則に従って、倫理にも配慮して研究に取り組むことができる。研究活動をノートなどに最低限記録できる。また、研究に用いる機器などの使用方法といった必要な技能をある程度習得している。	研究活動に関する諸規則に従い、倫理にも配慮して研究に取り組むことができる。研究活動をノートなどに記録できる。また、研究に用いる機器などの使用方法といった必要な技能を習得し、正しく取り扱うことができる。	研究活動に関する諸規則に従い、倫理にも配慮して研究に取り組むことができる。研究活動をノートなどに十分な内容で記録できる。また、研究に用いる機器などの使用方法といった必要な技能を習得し、正しく取り扱うことができるとともに、他者にその取扱い方を説明できる。	研究活動に関する諸規則に従い、倫理にも配慮して研究に取り組むことができる。研究活動をノートなどに、詳細に記録できる。また、研究に用いる機器などの使用方法といった必要な技能を高度に習得し、正しく取り扱うことができるとともに、その技能を他者に教えることができる。
	(2) 研究課題を理解し説明することができる	研究課題を理解していない。指導の下でも研究課題に関する調査を実施できない。	研究課題をある程度理解している。指導の下に研究課題に関する調査を実施することができる。その内容を指導教員に説明できる。	指導の下に、研究課題に関する調査を実施することができ、取り組むべき事柄を理解している。また、その内容を、背景と共に他者に説明できる。	指導の下に、研究課題に関する調査を実施することができ、調査結果との関連を含め、取り組むべき事柄を十分に理解している。また、その内容を、背景や研究の必要性と共に他者に説明できる。	能動的に、研究課題に関する調査を実施することができ、調査結果との関連を含め、取り組むべき事柄と生じ得る問題を十分に理解している。また、その内容を、背景や研究の必要性と共に、自らの意見を交えて他者に説明できる。
	(3) コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力	研究室内の指導教員と研究について会話ができない。	研究室内で指導教員と研究について会話ができる。また、研究に関する質問に対して受け入れ可能な答えができる。	研究室内で他者と研究について会話ができる。また、研究の説明に必要な資料を準備することができる。さらに、研究に関する質問の意味を理解し、受け入れ可能な答えができる。	研究分野の専門家を含む他者と、研究について十分な会話ができる。また、研究の説明に必要な資料を準備し、発表のためのスライドを作成できて発表できる。さらに、研究に関する質問の意味を正確に理解し、受け入れ可能な答えができる。	研究分野の専門家を含む他者と、研究について十分な会話ができる。また、研究の説明に必要な資料を準備し、スライドを作成して他者の前で発表できる。さらに、研究に関する質問の意味を正確に理解し、自らの考えを交えながら的確に答えることができる。